

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-137	A-152	17-027
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之		
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>Use of alcohol and drugs with addiction potential among older women and men in a population-based study. The Nord-Trøndelag Health Study 2006-2008 (HUNT3).</p> <p>地域在住高齢者における飲酒と依存性薬物服用 The Nord-Trøndelag Health Study 2006-2008 (HUNT3).</p>		
<b>執筆者</b>		
Tevik K, Selbæk G, Engedal K, Seim A, Krokstad S, Helvik AS.		
<b>掲載誌</b>		
PLoS One. 2017 Sep 8;12(9):e0184428. doi: 10.1371/journal.pone.0184428. eCollection 2017.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
飲酒、薬物依存、benzodiazepines、z-hypnotics、opioids	28886172	
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b>		
ノルウェーの地域在住高齢者における習慣的飲酒者と潜在性薬物依存の割合および両者の関連について横断的に調査した。		
<b>方法：</b>		
2006～2008年に実施された The Nord-Trøndelag Health Study (HUNT3)の参加者のうち、65歳以上かつ自記式質問票に回答した11,545名を解析対象とした。過去12か月において、週1日以上飲酒すると回答した者を習慣的飲酒者とした。1年間のうち1回以上ベンゾジアゼピン (BZD)、z-hypnotics または opioids の処方を受けた者を依存性薬物服用者とした。多変量ロジスティック回帰分析により、性、年齢、同居者有無および依存性薬物服用有無による習慣的飲酒オッズ比 (OR) および95%信頼区間 (95%CI) を算出した。		
<b>結果：</b>		
習慣的飲酒者は全体の28.2%であり、男性の方が多かった (60.9% vs 39.1%, $P < 0.001$ )。依存性薬物服用者は32.4% (BZD 12%, z-hypnotics 19%, opioids 12.4%) であり、女性の方が多かった (22.8% vs 41.1%, $P < 0.001$ )。依存性薬物服用者は、習慣的飲酒者のうち29.4% (22.8% vs 39.6%, $P < 0.001$ )、非習慣的飲酒者のうち33.6%であり (22.8% vs 41.4%, $P < 0.001$ )、いずれも女性で多かった。ロジスティック回帰分析では、年齢 (OR 0.94, 95%CI 0.93-0.95)、男性 (OR 2.07, 95%CI 1.90-2.26)、同居者なし (OR 0.67, 95%CI 0.60-0.75)が習慣的飲酒と有意に関連した。性、年齢、同居者有無で調整後、習慣的飲酒はz-hypnotics服用と正の関連を示した (OR 1.29, 95%CI 1.15-1.44) が、opioids服用とは負の関連を認め (OR 0.76, 95%CI 0.66-0.87)、BZD服用とは関連がみられなかった。		
<b>結論：</b>		
ノルウェーの地域在住高齢者において、習慣的飲酒者の約30%が依存性薬物服用者であった。依存性薬物服用中の高齢者に対する飲酒量を減らすための対策が必要である。		